



愛媛県立小松高等学校

〒799-1101

愛媛県西条市小松町新屋敷乙 42 番 1

TEL 0898-72-2731

FAX 0898-72-3669

明治 40 年 小松町立実用女学校開校

昭和 24 年 愛媛県立小松高等学校と改称

篤敬・勉学・鍛錬を校訓に、国家社会の有為な形成者として、個人の尊厳と責任を重んじ、豊かな文化の創造と国家社会に寄与する徳・知・体の調和のとれたたくましく生きる人間を育成することを教育方針とする。

学級数：12 生徒数：442 普通科・ライフデザイン科

ボランティアに興味のある生徒を増やしたい

昨年、新居浜イオンで開催されるハロウィンカーニバル等のイベントスタッフとしての参加や、老人保健施設リハクリネにて夏祭りの際には、食事介助や車いす介助をして、高齢者のそばによりそい交流を図っている。将来、介護福祉の仕事を目指している生徒や、子どもや高齢者が好き、人の役に立ちたいという気持ちから、自主的に参加している生徒が多い。

例年、大洲青少年ふれあいの家で開かれる 1泊2日のボランティアリーダー研修には、今年度初めて、3人の生徒が参加した。他校の生徒も一緒になっての活動で、生徒はボランティア活動に対して積極的になって帰って来るなど、意欲の向上が見られた。

家庭クラブでは、年間を通じて、ワクチンになるペットボトルのキャップの回収やユニセフに送るために毎月1日に「1円募金」を実施している。

ボランティア活動は、異世代やボランティア同士の交流をすることでたくさんのことを学び、そのことによって、生徒の自己肯定感を伸ばし、コミュニケーション能力を高めることにつながる。今後もボランティアの機会があれば、時期とは関係なく、生徒に提供していきたいと考えている。

しかし、ボランティアには興味があるが、「時間がない、合わない」という生徒が多いのも現状である。部活に所属していない生徒も増えてきているので、依頼があれば、呼びかけに何らかの工夫をしたりして、「とにかくまず参加」することを促し、自らボランティアに参加したいと感じる生徒を増やしたいと思う。





愛媛県立東予高等学校

〒799-1371

愛媛県西条市周布 650 番地

TEL 0898-64-2119

FAX 0898-64-4112

昭和 37 年 愛媛県立壬生川工業高等学校として設立

昭和 48 年 愛媛県立東予工業高等学校に改称

調和のとれた人格の完成を目指し、国家社会の有為な形成者となるにふさわしい資質を養い、社会の変化に主体的に対応できる、創造的で、心豊かな人間の育成を期することを教育方針とする。

学級数：9 生徒数：244 機械科・電子システム科・建設工学科

ものづくりは人づくり

社会に出て、専門分野で活躍できる人材を育てている学校であるため、専門性を活かしたボランティア活動に取り組んでいる。

形のできているものを準備して、小学生を対象にした木工教室を開催したり、公民館からの依頼で、棚やプランタ、LED を使ったインテリア、文鎮等の製作を、生徒が中心になって地域の子どもたちに教えたりしている。出来上がった物を持って帰ることができるので、大変好評である。

また、西条市から、幼稚園に防災シェルターを作ってもらいたいと依頼があり、パーツを校内で作って、幼稚園で組み立てている。年々件数は増えており、生徒は忙しい中、園児を喜ばそうと、奮闘している。

授業の中では、地域の匠を講師としてお招きしてその技を披露していただき、一緒にものを作っている。建築工学科の実習で瓦職人の方に来校していただいたときは校内にたくさんのオブジェを製作した。正確に積み上げた瓦のそれは圧巻である。



その他に、生徒会活動として地域からイベント補助の依頼、全校生徒を対象にした清掃活動等の活動をしている。

生徒は、地域から感謝の言葉をいただいて、期待されていると感じ、社会貢献について考えることのできるよい機会にもなっている。学習や部活で忙しい中での活動なのでたいへんではあるが、いい体験活動ができています。

しかし、年々、依頼も多くなってきているので、その分負担も増えている。活動自体には意味のあるものなので、継続していきたいが、どのように工夫していくかが今後の課題である。



愛媛県立丹原高等学校

〒799-1371

愛媛県西条市丹原願連寺 163

TEL 0898-68-7325

FAX 0898-68-0675

明治 34 年 周桑郡立農業補習学校創立

昭和 24 年 高校再編成により愛媛立丹原高等学校となる

「愛顔（えがお）あふれる丹原高校」を目指して、「共に創ろう誇れる丹原高校」という教育目標の下、「勉強に部活動に気力」を重点努力目標としている。自ら学ぶ「やる気」と最後まで諦めない「根気」心豊かでいつも明るい「元気」を大切に、何事にも積極的に取り組む生徒の育成に努める。

学級数：12 生徒数：411 普通科・園芸科学科

生徒が講師となって農業講習会を開催

「年間ボランティア活動参加者延べ420人以上。3年間で1回以上ボランティア活動に参加」を目標としている。主な活動としては、農業クラブの活動、地域からの要請での活動、部活動単位の活動がある。

農業クラブ（園芸科学科）は、年に数回、要請があれば、地域へ寄せ植え講習会に行く。講師は生徒がする。受講者は専門の高校生が教えてくれることで大変喜んでもらえる。また、近隣の山へ放置竹林の整備に行く。伐採した竹で、簾や箒を中学生と一緒に作り、校内美化に活用している。

部活動単位の活動では、毎年12月、運動部員約50人が丹原名産のあたご柿の柿摘みの手伝いに参加している。また、美術部が地域の老人介護施設に出かけて「似顔絵ボランティア」をしている。似顔絵を描きながらの会話とその作品をプレゼントするため、高齢者に好評である。音楽部も介護施設を訪問し演奏をしている。

西条市や保護者からの依頼もあり、夏祭りの手伝い、花火大会の後片付けやスポーツ大会の補助役員なども、生徒会役員や全校生徒に呼びかけ希望者を募っている。



寄せ植え講習会

地域の高齢化が進み、高校生の力が必要とされている。その中で、生徒、教職員、地域の方々が、一つの目標を持って活動することにより、地域の応援や支援を体感することができる。



放置竹林伐採後簾を作る

また、ボランティア体験を通して、自己の目標や進路決定につながっている。生徒が講師をすることによって、「学ぶ」と「指導」することの違いを知り、生徒の意識の高揚を高めることもできた。就職を希望する生徒のほとんどは地元採用である。地域を知り地域とともに活動することによって、社会に出た後も自信を持って活躍してくれると信じている。



愛媛県立今治西高等学校

〒794-0055

愛媛県今治市中日吉町3丁目5番47号

TEL 0898-32-5030

FAX 0898-32-3150

明治34年 愛媛県立西条中学校今治分校として越智郡日吉村大字蔵敷に設立認可される。

明治38年 独立して愛媛県立今治中学校と改称する。

昭和24年 高等学校再編成により愛媛県立今治西高等学校として開校

徳・知・体の調和のとれた健全な心身の発達を目指し、個性豊かな人間の育成を教育方針として、自ら学び自ら考える力と豊かな人間性を身に付け、たくましく生きる生徒の育成を目標とする。

学級数:24 生徒数:942 普通科

ボランティア活動の幅を広げる

インターアクト部が中心となって、校内でユニセフの募金活動・清掃活動、ロータリークラブからの要請で市民の森清掃、今治城周辺の清掃、NPO 法人からの依頼で阪神大震災の日、防災フェスタへの参加等行っている。

また、市役所からの依頼でおんまく祭での『拾えば町がきれいになる運動』への参加、福祉系の生徒がする、介護福祉施設のイベントスタッフや介助、児童センターのイベント手伝い、障害を持った方々のプールでの介助等がある。

生徒会は、主に、学校行事のサポート・運営・準備をしている。

地域の方々からは、公共の場所がきれいになったとお褒めの言葉をいただいたり、感謝してもらったりしている。今後は、さらに、ボランティア活動の幅を広げていきたいと思う。

ボランティア活動は、社会で役に立っているという達成感や満足感を味わうよい機会である。生徒は、地域活動に参加し、自分たちの町を好きになり、やがてはコミュニティを背負っていく存在になってほしい。

中には活動に消極的な生徒もいるので、みんなが活発に活動できる雰囲気になっていけばいいと考えている。



ロータリークラブサマーキャンプ



清掃活動



愛媛県立今治南高等学校

〒794-0015

愛媛県今治市常盤町7丁目2番17号

TEL 0898-22-0017

FAX 0898-25-6945

大正15年 越智中学校（旧制）として開校。

昭和23年愛媛県立越智高等学校に改称 昭和24年愛媛県立今治南高等学校に改称。

「共に創ろう誇れる南高」をスローガンに、人格の向上を目指し、学ぶ喜びを感じ、社会奉仕をする生徒を育成することを重点目標とする。シンボルの時計塔は、初代校長の母校である札幌農学校（現北大）の演武場（札幌時計台）に起源があり、パイオニア精神を当校にも受け継いでもらいたいとの願いを込めて設置された。

学級数:21 生徒数:783 普通科・園芸クリエイト科

生徒会長からの提言

毎月1回、第3水曜日の7:00~8:00
学校前の常盤通りを清掃している。題して
「南校 Road 清掃」。自由参加。

生徒会長の話。今の南高生は先生方に頼りすぎる傾向がある。指示を待っているだけ、指示以外に気付いたことを見るだけになったりしている。そんな自分たちを生徒会が中心となって活動を企画したり、行動に移したりして自らを成長させようと考えた。

ボランティアは、人の役に立ち、地域に貢献ができる活動であり、これから社会の一員となるひとりとしてたいへん意義があると感じている。それは、自分自身が気付き考え実行できる生徒に成長できること、協調性や愛高心を育ませることができること、そして、清掃活動を通じて、今治市をきれいにしたいという気持ちを、地域に理解してもらうことができるからである。

やりたい、やった方がいいと思ってはいるが、それを実行に移すまでいかない人や、結果や評価を短期間で求めてしまう人に、どのようにして参加してもらうか、また、やろうと思ったときとボランティア活動の時期がずれてしまうことや活動の内容が周知されていないことがあるなど課題は多いので、解決に向けて工夫していきたい。



他の活動として、地域の文化祭にて、模擬店を出したり餅つきをしたり、終了後の清掃もしている。おんまぐグリーン活動、近見山清掃活動にも参加している。

今後は、清掃活動にとどまらずもっと、いろいろなボランティア活動をして地域貢献をしていきたいと考えている。